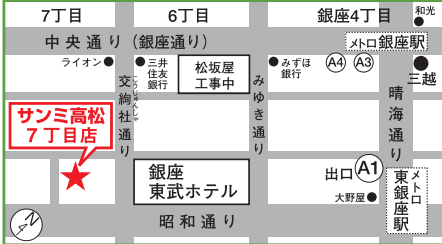


平成27年度東京支部
総会のご案内
7月4日(土) 12:00
 (受付: 11時~)
場所: サンミ高松7丁目店
 東京都中央区銀座7-13-20
会費: 男性 7,000円
 女性 5,000円
 29歳まで 5,000円
 20歳まで 無料
 問い合わせ先電話 **03-5568-3320**
 高松商事(株)内 紫雲会東京支部
 事務局 漆原慎二

サンミ高松7丁目店 案内地図

〈最寄駅〉銀座駅(丸ノ内線・銀座線・日比谷線) 東銀座駅(日比谷線・都営浅草線)



紫雲会東京

平成27年(2015年)

第9号

発行者 紫雲会東京支部長 北條 勇
 印刷所 (有)ひまわり印刷

〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9
 高松商事(株)内 紫雲会東京支部事務局

☎ 03(5568)3320

編集委員長: 池田政廣 編集委員: 榎本恵一、福西佐都美、岩本真由美、入谷絵、
 山中イヅ子、田所幸子、鈴木木、大谷美恵子、西木茂雄、岡本えり子、太田郁治郎

新支部長挨拶

紫雲会東京支部長 S 39年卒 北條 勇



本年4月から、安西 愈前支部長の後任として、紫雲会東京支部の第7代支部長を務めることになりました。

会東京支部は歴代の支部長は錚々たる方々ばかりで、些か臆してありますが、同窓会を想う気持ちだけは劣らないと自負しております。

お引き受けるに当たって有り難いことに、平成17年頃から紫雲会東京支部の改革に着手し、会員による民主的な運営を図るために、当時の満洲利幸第5代支部長、安西 愈第6代支部長とが約10年に亘り、榎本恵一支部長代行が中心となって、会員の親睦と交流を通じて、母校との絆を深めることを目標に、同窓会活動に役割と責任者を決めて組織化を図り、その結果、今は常任理事会に8委員会が設けられ分野別に活動をしており、民主的な運営の基礎が出来上がっております。

ただ、財政面を含めて問題点も多々ありますので、役員の皆様と一緒に解決策を見出して前に進めて参りたいと考えております。

紫雲会東京支部もある時期までは、総会への出席は敷居の高いものだったと伺っております。それと東京支部では年一回の総会しか同窓生が集まる機会がなかったのが、今では総会以外にも親睦交流委員会が行っているゴルフ会や日帰りバスツアーの行事があります。また、昨年新たに発足した女子会(紫雲オリーブ会)が今年3月に「千鳥が淵散策と食事会」を開催したところ、多くの女性会員が

会費納入のお願い

紫雲会東京支部は皆様の会費で運営されています。皆様、会費のお振込をお願い致します。

出席されました。これからは誰でも参加できる機会を増やし、会員との親睦と交流を図って参ります。

最近卒業生が男子より女子の比率が大幅に増大しておりますので、当然同窓会としても、その点を考慮して運営をして行かなければならぬと考えています。

既に、年次幹事委員会では各年次幹事に女性を充て、女性会員への働き掛けを積極的に進めております。

そうした活動を通して女性会員を増やし、同窓会の活性化を図っていかねばならないと考えています。

また、若い会員にも同窓会への関心をいたれるように働き掛けをして行かなければならないと思います。

勿論、今更には紫雲会東京支部を支えていただいた方々には、従来にも増しましてお力添えを賜りますようお願いいたします。

八〇周年総会熱気のさらなる発展を

前支部長 S 32年卒 安西 愈



満洲利幸前支部長(昭和28年卒)から東京支部2代目の支部長としてバトンタッチを受けて、この六年間、支部会員の皆様をはじめ、高松商業同窓生の方々の並々な協力により、初代支部長の鈴木祥枝氏(明治36年卒・東京海上火災社長)以来の支部活動を継承し、次の北條 勇支部長(昭和39年卒)へ無事にバトンをつなげますことを感謝致します。

この間、榎本恵一支部長代行(昭和32年卒、造田貞男常任理事会議長(昭和36年卒)、その他の皆様のご協力により、支部の規則・細則の整備をはじめ、支部運営の基礎が固まり、各委員会の活発な活動が展開され、会員の皆様のがっかりとしたスクラムが参加者三〇〇名を超えて支部八〇周年記念総会の熱気となって見事に結実致しましたことは、本当に嬉しい限りです。

また、理事会、役員会で真剣に討議された支部会費制とすることによって、出席されませんでした。これからは誰でも参加できる機会を増やし、会員との親睦と交流を図って参ります。

支部長代行を辞するにあたって

前支部長代行 S 32年卒 榎本恵一



私が本格的に同窓会活動を開始したきっかけは前満洲支部長カケは前満洲支部長時代に依頼された2005年まで遡る。

大阪に本社のあったマイカルの再建もでき、川崎の自宅に帰ってきたところに、前満洲支部長からの話で、東京支部の総会への出席数が思わしくなく、同窓会活動に力を貸してほしいとの事でした。東京・玉翠会(高松高校)総会は800名以上の参加があると聞いていたので、高高出身の光洋中学同期の二人に根掘り葉掘り仕組みを聞き出し、総会の見学にも行き案をまとめ、東京支部役員会で発表したところ、なぜ高松の真似をするんだ。との先輩からの批判にもさらされたが、総会は毎年7月第一土曜日実施、年次幹事を将来の活動推進母体とする、常任理事会を作り支部長への意見具申、答申をおこなうとかの原型はこの時に提案したものです。

「習・破・離」という言葉があります。1988年当時、NTTを官から民間への移行するとき、民間企業から凄腕を見込まれてNTT社長になっていた真藤さんが何冊かの本を出されていたが、その中で、最初は優れているものを真似て、次の段階で更に進化するためにその殻を破り、そして新しいものを創造していく。事を言われており、この言葉は、武道や茶道にも使われているようです。真藤さんは、戦前、造船の新しい技術として造波抵抗を少なくするため球状

いて、親睦と交流の同窓会として会費制はどうかという反対意見もありましたが、「支部会員一人一人の手によるみんなの同窓会」とするとの目的のもとに、全会一致で決定に至ったことは、画期的なことだ、それが支部の力の源泉となりました。今では千名を超える支部会員のうち四八〇名以上ののぼる会員が支部会費を納入下さっていることは、大きな励みとなっています。この結果があの八〇周年総会の成功を生み出した。この熱気を新支部長のもとでさらに発展させて頂きたいと願い、私の退任のあいさつとさせていただきます。



総会風景全景



安西 愈 東京支部長ご挨拶

平成26年度 定期総会写真



司会: 秋山 典久氏・岡本 えり子氏



横山 賢治 学校長ご挨拶



多田 孝 大阪支部長ご挨拶



真鍋 健彦 紫雲会会長ご挨拶

船首構造を發明し、実際に実用化を計った方でもあります。残念ながら政界を巻き込むリクルートの取締罪に問われ実業界から身を引かれました。

時代は移り変わっていきますので、同窓会活動も変えたいと思っております。後輩の皆さんへは、同窓会活動にとどまらず、その時代、環境の変化に対応した、新しいやり方へ挑戦する気持ちと行動力を発揮してほしいと思いますと共に、何のためにそれをやるのか(Why)、何故それをするのか(How)を各3回繰り返すと真の答えが出てきます。足かけ9年の長きにわたり、常任理事、役員の皆さん方へはお世話になり感謝申し上げます。

平成26年度

東京支部活動報告

平成26年度支部活動は、昨年の80周年記念総会で承認された活動計画に沿い、支部会員の皆様のご支援ご協力をいただき計画どおりに達成することが出来ました。

7月5日には定期総会を開催し、148名の出席のもと有意義な総会となりました。

親睦・交流委員会では、第9回ゴルフ会をCPGカントリークラブで、第8回日帰りバス旅行「富士山世界遺産（構成資産）の探訪」をそれぞれ実施。

会報8号を発行し、広く会員の皆様に支部活動状況をお知らせしております。

東京香川県人会が11月4日に開催

され、紫雲会東京支部から24名の出席がありました。

平成26年度
付議事項

平成26年度の付議事項は決議を要するもの4件、報告事項7件でしたが、全て総会にて承認されました。

決議事項の内容は、

- 1、平成25年度会計報告及び会計監査報告
- 2、平成26年度事業に関わる予算
- 3、支部長候補（1名）、新常任理事会議長候補（1名）、常任理事候補（7名）、新理事候補（6名）選任の件

紫雲会東京支部 平成26年度 会計報告				
期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日			単位：円	
収入		支出		
前年度繰越		995,390	総会費用	1,396,757
総会会費		891,000	料理 @5,400X148名	799,200
男 @7,000X103名	721,000		飲料 @1,620X148名	239,760
女 @5,000X 34名	170,000		準備軽食	13,500
お祝金		47,000	懇談軽食	14,040
役員年会費		440,000	米賣土産	17,496
一般年会費		381,000	ビンゴ景品	35,528
26年度分	337,000		作品展費	51,192
25年度分	44,000		総会案内	163,884
会報賛助金・広告費		387,000	雑費	62,157
賛助金	237,000		事務消耗品・通信費	94,036
@5,000X29名	145,000		旅費交通費	121,020
@3,000X29名	87,000		慶弔	50,000
27年度分	5,000		振込負担金	38,134
企業広告	150,000		会議費補助	482,066
@50,000X3社	150,000		役員会	107,880
本部補助金		300,000	常任理事会	48,240
受取利息		157	年次幹事会	99,440
寄付金		881,380	各委員会	226,506
			委員会補助金	40,000
			親睦交流活動補助金	40,000
			年次幹事委員会同期会助成金	0
			会報発行費9号紙	326,008
			ホームページ更新委託費	34,452
			事務局費	50,000
			85周年記念基金	100,000
			予備費(母校スポーツお祝金)	67,725
			(当年度支出金合計)	(2,800,198)
			次年度繰越	1,522,729
計		4,322,927		4,322,927

役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の半額と交通費の全額個人負担
常任理事会は、2回開催、補助は1回のみ
各委員会の出席者は、交通費全額個人負担

平成26年度第9回
ゴルフ大会のご報告

親睦・交流委員長 S 32年卒 片岡英明

- 4、会則・細則一部変更
報告事項は（敬称略）
- 1、常任理事会に女子会を設置。
委員長は大谷美恵子、副委員長に岡本えり子、福西佐都美
- 2、紫雲会懇談会開催（紫雲会本部、大阪支部、東京支部、学校）
- 3、10月1日にCPGカントリークラブで、10月22日に「富士山世界遺産（構成資産）の探訪バスツアー」をそれぞれ実施
- 4、「紫雲会東京」会報8号を5月末に発行送付しました
- 5、東京香川県人会総会に東京支部より24名の出席
- 6、年次幹事会を5月24日に開催
記念総会担当の3名を表彰、支部活動に貢献で2名感謝状贈呈

「登らないけど富士山へ」
世界文化遺産をめぐる

親睦・交流委員会 副委員長
S 34年卒 山中イツ子

第8回親睦交流「日帰りバス旅行」は、一昨年6月、ついに「富士山」信仰の対象と芸術の源泉」が、「世界文化遺産」に登録されたことを祝して、「登らないけど富士山へ」世界文化遺産をめぐるしてきました。

■実施日 平成26年10月22日（水）

■天気 時々小雨

■会費 9,500円

■昼食 （少し贅沢なランチを川口湖畔・秀峰閣湖月で）

■集合 新宿駅西口・時間 9:00

◎車中では出身中学を語り合い和気満々!!一段と親しみが増した頃 新宿駅西口19:00頃解散

■探訪どころ 富士御堂浅間神社・川口浅間神社・船津胎内樹型・北口本宮富士浅間神社・御師住宅（旧外川家）・忍野八海

■参加者 33名 男性・17名・女性・16名（内「家族6名」）

■卒業年度別 28年1名・32年7名・34年3名・

ホームページ
新委員長挨拶

S 51年卒 萬納宏俊



この度、ホームページ委員長になりましたS 51年卒の萬納宏俊です。よろしくお願いたします。

皆様は、紫雲会東京支部のホームページをご覧になったことは、ありますか？

URLは、

<http://stunkai.tokyo.org/>

（または、「紫雲会東京支部」で検索になりますので、一度、のぞいてみてください。ホームページの「新着情報」には、様々なご案内や情報が掲載されています。

さて、ホームページ委員会の委員は、S 32年卒 榎本恵一さん（7月4日退任予定）、S 48年卒 三村圭

第一回
紫雲オリーブ会の集い

S 51年卒 福西佐都美

三月二十八日「豪華フレンチとワイン&千鳥ヶ淵のお花見散策」に昭和三十年代卒から平成十七年卒の二十九名の参加を頂き第一回目の紫雲オリーブ会の集いが終了しました。

天候にも恵まれ、十時半に九段会館前を出発。靖国神社を右手に見ながら千鳥ヶ淵の遊歩道の桜をお喋りしながら楽しんだのち、半蔵門にあるフレンチレストラン「東京グリントイング」にて本格フレンチとワインを堪能しました。日本ソムリエ協



次回は三月二十六日を予定しています。内容については検討中ですが、是非たくさんの方の参加を頂き、皆様が紫雲オリーブ会を盛り上げていきましょう。

会名登録顧問で、お店のオーナーでもある熱田様よりワインの楽しみ方等のお話を伺ったり自己紹介や近況報告などをしながら楽しいひと時を過ごすことができました。

介さん、S 56年卒 太田都次郎さん、H 2年卒 岩本真由美さん、H 8年卒 石田知行さんになります。

今年は、1月10日に委員会を開催し、現在のホームページのコンテンツの内容を検討しました。その結果、今年の活動計画としては、①支部長の交代に伴うホームページの関連項目（挨拶、組織・役員について、会則）の更新、②不要と思われる項目（年間スケジュール）の削除、③新しい項目（各種親睦交流の結果報告、あるいは、さぬきうどんのお店情報など）の新設を今年度は実施することになりました。

皆様の中で、ホームページ委員会の委員になって、私たちと一緒にホームページの運営をやってみたいとか、あるいは、紫雲会東京支部の会員の皆様にお伝えしたい情報があるのでこういう記事を掲載して欲しいといったご意見・ご希望等ありましたら、ホームページの「お問い合わせ」にありますが入力フォームに入力して「送信」をお願いいたします。

平成27年度

東京支部定期総会のご案内

本年度も紫雲会東京支部定期総会を開催しますので、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

今年で82回目の総会となりますが、実行委員会が一生懸命の企画で、皆様をお待ちしておりますので多くのご出席をお願い致します。

記

- 1、日時
平成27年7月4日(土)
12時～16時
(受付は11時～ お早目にお願
いします)
- 2、場所
サンミ高松7丁目店
東京都中央区銀座7-13-20

電話 03-13546182

3、交通

東京メトロ 日比谷線「東銀座駅」徒歩5分、銀座線「銀座駅」徒歩7分、都営浅草線「東銀座駅」徒歩5分

4、会費

男性 7,000円
女性 5,000円
29才まで 5,000円
(男女20才以下は無料)

5、イベント・ビンゴゲーム

支部や役員多数のご寄贈で賞品は沢山用意しています。お楽しみください。

6、作品展

今年で8回目の総会併設展示会

紫雲会東京支部 平成27年度 予算案			
期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日 単位：円			
収入		支出	
前年度繰越	1,522,729	総会費用	1,431,000
総会会費	900,000	料理 @5,400X150名	810,000
男@7,000X100名	700,000	飲料 @1,620X150名	243,000
女@5,000X 40名	200,000	準備軽食	15,000
お祝金	30,000	懇談軽食	15,000
役員年会費	430,000	来賓土産	20,000
一般年会費	337,000	ビンゴ食品	30,000
会報賛助金・広告費	390,000	作品展費	80,000
賛助金	240,000	総会案内	188,000
@5,000X30名	150,000	雑費	30,000
@3,000X30名	90,000	事務消耗品・通信費	94,000
企業広告	150,000	旅費交通費	175,000
@50,000X3社	150,000	慶弔	50,000
本部補助金	300,000	振込負担金	45,000
		会議費補助	531,000
		役員会	87,000
		常任理事会	27,280
		年次幹事会	92,800
		各委員会	223,560
		女子会	100,360
		委員会補助金	90,000
		親睦交流活動補助金	40,000
		年次幹事委員会同期会助成金	50,000
		会報発行費9号紙	330,000
		ホームページ更新委託費	62,000
		事務局費	50,000
		85周年記念基金	100,000
		予備費	100,000
		次年度繰越	851,729
計	3,909,729		3,909,729

役員会・常任理事会・年次幹事会の出席者は、会議費の半額と交通費の全額個人負担
常任理事会は、2回開催、補助は1回のみ
各委員会の出席者は、交通費全額個人負担

で、会員の力作(絵画、書道、写真等)を是非ご観賞ください。

7、次第

開会、校歌斉唱、挨拶、報告、審議、役員人事、乾杯、懇談、ビンゴゲーム、万歳三唱 閉会
(若干の変更はあります)

8、お願い

会報に同封の「総会出欠ハガキ」を6月20日(土)までに投函くださるようお願い申し上げます。

平成27年度 支部活動

本年度は次の活動計画を推進いたします。

組織

①役員人事

(新任)

常任理事候補(5名)

S 39年卒 大森 正 様

S 51年卒 松濱 明貴 様

S 52年卒 萬納 宏俊 様

S 55年卒 秋山 典久 様

S 40年卒 鈴木 伸二 様

S 49年卒 塚本 初江 様

H 2年卒 岩本真由美 様

S 42年卒 室井三千代 様

S 32年卒 安西 愈 様

名誉支部長(1名)

S 32年卒 榎本 恵一 様

S 36年卒 前支部長代行 造田 貞男 様

(前任常任理事会議長)

顧問(2名)

S 33年卒 十河 安義 様

S 47年卒 神内 博喜 様

副支部長

(退任)

S 36年卒 前支部長代行 造田 貞男 様

(前任常任理事会議長)

S 33年卒 十河 安義 様

S 47年卒 神内 博喜 様

常任理事

S 33年卒 吉川 俊夫 様

S 32年卒 長尾 勝 様

S 33年卒 安西 公夫 様

S 39年卒 横山 征一 様

S 57年卒 田所 秀樹 様

S 33年卒 岩瀬 博 様

監事

S 33年卒 岩瀬 博 様

総会

総会 1回/年 開催

表彰委員会 1回/年 開催

常任理事会 2回/年 開催

年次幹事会 1回/年 開催

8委員会

(総会 親睦交流 表彰検討 会報 総務 年次幹事 ホームページ 女子会)

随時/年 開催

親睦・交流事業

①日帰り旅行 下記参照

②ゴルフ大会 下記参照

③女子会(紫雲オリブ会) 3月開催

④母校スポーツで東京大会時の団体戦応援

⑤東京香川県人会定期総会 11月4日 開催

広報活動

①広報紙「紫雲会東京」9号を発行

②東京支部ホームページの内容充実と共に情報発信に努める

カルチャー活動

①会員作品展の開催

②会報「投稿コーナー」の充実

③表彰対象者の募集

基盤強化活動

①会員名簿の充実とメインテナンス

②新規会員の掘り起し

③年次同窓会の開催支援

④役員の拡充

平成27年度第10回 ゴルフ大会のご案内

親睦・交流委員長 S 39年卒 大森 正

平成27年度「第10回 紫雲会東京支部ゴルフ大会」を左記の通り開催いたします。

ゴルフ愛好者のご参加をお待ちしております。特に今大会は立派な安西杯の取り切り戦となっております。初参加者も権利あります。

記

- 1、日時
平成27年10月8日(木)
集合9時
- 2、会場
CPGカントリークラブ

3、会費

14,000円
(ブレイク費、食事、パーティ、賞品代含む)

4、申し込み先

①幹事 大森 正
電話・FAX 043127312662

②支部事務局 漆原慎二
電話 031556813320

FAX 031556813310

5、締切

平成27年9月15日(火)

バス代+懐石料理+写真代他
場所/日の丸自動車東京スカイ

ツリー営業所
時間/9時30分(出発10時)

解散場所・時間
昼食会場「亀戸升本」

午後2時半

◆申込先・べ切日
担当・桑島恵美子

FAX 03-3203-4808

又は、
PCメール

kuwa2525@yahoo.co.jp

べ切日 7月31日(金)

◆会費の振込先

1、ゆうちょ銀行

10050-83112771

2、三菱東京UFJ銀行

657-3964216

いずれも、
クワジマ エミコ 口座

*納入期限/9月1日～9月20日

(納入後、ハガキにて事業の詳細をご連絡します)

紫雲会に思ふこと

H22年卒 帰来 宏



初めまして、平成22年度卒業の帰来と申します。私は大学1年次からこの紫雲会に参加させていただき、「高商生」の素晴らしいさを毎回、実感しています。

まず、高商卒業生にはお手本となる先輩方がたくさんいらっしゃいます。日本を代表する様な大企業に勤めている方や、起業し企業の代表・役員を務めている方など、選ばれた道は様々ですが、皆さまご自身の仕事・人生に誇りを持たれてい

常任理事会議長挨拶

S39年卒 池田政廣



私が紫雲会東京支部の活動にかかわるようになったのは8年前にS28年卒の杉ノ内先輩から「今度東京支部改革の一環として卒業年次ごとに年次幹事を置いて事務局と会員との連絡係としての組織の活性化をはかりたいので年次幹事をやってほしい」という電話があり、自分にできるか不安でしたが「私でよろしければ」と引き受けた。

実際に活動始めてみると今までの人生とは全く違う先輩や同期生、後輩の皆さんとの交流が始まりました。その中で感じたのは80年近くこの東京支部を作り育て続けてこられた多くの先輩諸氏の気持ちを引き継いでいかねばならないということでした。

同窓会の活動は母校に対する愛情が一番のエネルギーだと思います。3年間の高松商業での生活という共通点だけでなくにも一生懸命に活動をされてきた先輩に誇りを感じました。この活動の中で先輩からのアドバイス通り卒業以来40年ぶりで同期会をスタートし毎年数回の同期会で交流を深めています。最初は遠慮

ると感じます。

また、紫雲会では人と人との「繋がり」を強く感じます。自分の一回り、二回り時には両親の年代の方とも、ぎくばらん話をしています。そんな機会は滅多にありませんが、それが出来るのは「高商生」だからだと、私は感じています。長くになりましたが、最後に私からお伝えしたいことがあります。それは、若い人達にもっと紫雲会を盛り上げて欲しいという気持ちです。卒業後も、年代を超えて交流を深める学校はそうありません。就職し、辛い事、悩み事もありました。就職して先輩や同期生と会う度に励ましていただき、もう少し頑張ろうと思つてきました。この素晴らしい紫雲会をより良いものにしていくためにも、若い方々の積極的なご参加、お待ちしております。

がっつりですが今はブランクを感じないほどうちとけた会になりました。同期会を機に東京支部活動にも参加者が増えています。東京支部をみた場合、多くの方に参加してもらえようになりましたが、将来の為に若年会員と女性会員の参加促進が課題となります。今年も同期会開催の支援策や年次幹事の増強を行います。女子会も紫雲オリブ会という素敵なネットを計画して多くの方の参加を期待しています。

同窓会の目的は会員相互の親睦が第一です。そのために①総務委員会 ②総会委員会 ③親睦交流委員会 ④会報委員会 ⑤年次幹事委員会 ⑥女子会(紫雲オリブ会) ⑦表彰検討委員会 ⑧ホームベジ委員会。会員の皆さんの同窓会です。ご希望、不満等なんでも結構です。ご意見をお待ちしています。そして「紫雲会に参加してよかった」「他の同窓生にも声をかけよう」と思っていただけのような同窓会になるよう皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。



S32年卒「喜寿祝の同期会」開催

S32年卒 谷本清彦

東京讀仁会(昭和32年卒同期会)については「古稀の年」に紫雲会東京第2号で紹介されましたが、現在のメンバーは22名で例えは榎本・川田両年次幹事が世話役で望年会を含め年5回開催しています。私達は昨年(今年)に「喜寿」を迎えましたので、今年3月18日の例会を「喜寿祝の讀仁会」として開催しました。

出席は10名でしたが今回は喜寿を自分自身で祝うコメント発表を行いました。発表の中には高商在学中闘病のため一年休学したが、「田んぼを売ってでもお前の病気を治してやる」との父親の愛情で、命が助かり卒業・就職ができ、今日までの道が開けた。喜寿に当り「よくここまで生きてきた」との所感や他にも高商入学生時の両親の愛情に感謝したとの発表もあった。

今までは振り返るの自己評価、日頃留意の標語、これからの長寿目標(次は88才米寿、111才皇寿、そして120才耄耋)

同窓会について思う

東京支部顧問 S36年卒 造田貞男



東京支部は皆様のご理解と暖かいご支援を頂き、支部会費登録者数、総会出席者数は年を追って増えて参りました。有り難いことです。

「紫雲会東京支部」総会は関東地区の同窓生の集いと想の場であります。この総会案内は会報紙「紫雲会東京」や支部HPに詳報しています。美味しい料理で定評のある総会懇親会は、名物の醤油豆を酒の肴にし、さぬきうどんをたらふく食べられ、讃岐弁を交えての歓談を一段と盛り上げています。常連さんや初参加の方も雰囲気は溶け込み、同窓の誼を結び、満面に笑みを浮かべ、ご満足の様子です。未参加の方は、是非、支部の窓口へお連絡下さい。そして、貴方のお仲間

等が披露され人生の縮図が感じられた。また近況報告では「ライオンスクラブの中心メンバーとして盲導犬希望者のため目の不自由な歌手八沙由子さんによるコンサートを開催し支援活動を行った。」「7才になって病気が追っかけてきたが、前向きに療養に取り組んでいる。」等が披露され、志をもつて継続と徹底する人は充実人生があると感じました。今回の喜寿の発表は人生の区切りとして有意義であった。



同窓の安西支部長、榎本支部長代行が、今年3月末で2期6年ご尽力いただいた紫雲会東京支部の要職を退任するに当り感謝し、最後に同期会の継続開催を確認し合つて散会した。

追記
昨年9月に高松での「喜寿の32年卒同期会」は台風で中止となり今年5月23日(土)に延期された。

に会って、楽しい一時を送って下さい。東京支部は昨今の女性会員の著しい増加に対応した施策を打ち出しました。即ち、女子部会の創設です。女子パワーによって新たな試みが為されようとしています。大いに期待しています。更に、東京支部は、同期同窓会の重要性に着目し、この開催促進に力を注いでいます。未充足の年次も年次幹事さんを中心に「努力」されているようです。尚、母校の団体スポーツ(バレーボール、柔道、ハンドボール等)の応援にも注力し、支部と学校との絆を更に強めています。学校や選手、その父兄、各クラブ関係者の皆様より感謝されています。

一方、同窓の集いは「東京香川県人会」の総会(その役割を果たしています)。皆様の中学時代の同期生と同じ地区の知人も東京で再会するチャンスがあります。このように、同窓仲間、郷里の地区仲間、趣味仲間、中学校時代のクラブ仲間等の誼を結ぶことも楽しいことです。職場仲間、近所付き合い等ありますが、同郷、同窓の集いは格別です。



昭和51・52・53年卒業の皆さん



昭和49年卒業の皆さん

平成26年度 年次別集合写真



昭和28年卒業の皆さん



昭和39年卒業の皆さん



昭和46年卒業の皆さん



平成2・5・26年卒業の皆さんと先輩たち

紫雲会会長挨拶

紫雲会会長 S 38年卒 真鍋健彦



謹啓 初夏の風もすがすがしいころとなりました。東京支部の皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、紫雲会に格別のご支援ご理解を賜り心よりお礼申し上げます。この度東京支部におかれましては北條 勇支部長による新体制のスタート誠にありがとうございます。紫雲会を代表してお慶び申し上げます。また安西 愈前支部長におかれましては長年にわたり東京支部におかれましては長年ご尽力いただき誠にありがとうございます。特に母校雨天練習場建設に当たっては先頭に立ち募金活動され、立派な雨天練習場が完成いたしました。今では高商生が部活動や授業に大いに活用しております。高松商業も19

紫雲会大阪支部長挨拶

紫雲会大阪支部長 S 40年卒 北昭昭二



この度、多田前支部長から引き継ぎ紫雲会大阪支部長となりました、昭和40年卒業の北昭昭二でございます。

私達が高校生活を3年間過ごしました母校高松商業は野球部という大きな宝物があり、在校生が一団となって応援したあの頃の思い出、甲子園という大きな夢を私達に与えてくれた野球部のおかげで私達は他校にはない団結力が生まれ、学校を卒業してからその求心力ゆえに今も心のふるさと高松商業への郷愁と愛着心となって紫雲会が一つにまとまっている大きな所以になっていると思います。東京支部におかれましては、野球

03年(明治36年)13名の第一回卒業生から今年285人を加えますと総勢34、367人が卒業され、さまざまな分野で活躍しております。歴史と伝統ある高松商業を誇りに思う次第であります。今年も3月3日に卒業生に対し紫雲会への入会式を行いました。主旨は入会を歓迎すると同時に紫雲会の目的ことや、高商生が充実した高校生活を送れるように同窓会の一員として紫雲会の行事に進んで参加し母校を支えて頂くことをお願いしました。

これからの長い人生で、同じ学舎に学んだ者同士が手を携えて共に歩み続けることが母校及び紫雲会の発展に繋がる訳であります。東京支部の皆様におかれましてはこれからもご支援ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新体制のもと紫雲会東京支部の益々のご発展を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

部で活躍されました北條 勇様がこの度、東京支部長に就任されましたこと、誠に喜ばしく思い心からお祝い申し上げますとともに、高校時代に私達に大きな夢を与えていただいたことに感謝を申し上げます。

大阪支部ではこれからも充実した組織力と活発な支部活動を行っていただける東京支部を模範として、会員の掘り起こしを図るとともに会員相互の親睦を深めるため各種行事の一層の充実を目指してまいります。

そして東京支部と共に高松の本部を支える両輪として、これまで両支部の先輩諸氏が築かれた伝統と連携協調の輪をより一層深めるべく、紫雲会活動に努めていきたいと思っております。最後になりますが、紫雲会東京支部の今後益々のご発展並びに会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

高商の益々の発展を祈っています

香川県立高松商業高等学校前校長 横山賢治



東京支部の皆様におかれましては、益々清祥のこととお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが高松商業高校をこの3月に無事に退職することができました。37年の教員生活を本校で締めくくることができたのもひとえに皆様方のご理解とご支援のおかげであるとお礼申し上げます。東京支部の皆様方には支部総会など機会ある度に励ましの言葉など暖かいご支援を賜り、その都度「先輩方がこんなにも応援してくれているのだから、やらなくてははいけない」と元気をいただきました。

また、一昨年は雨天練習場建設に当たり、物心両面から格別のご支援

学校長あいさつ

香川県立高松商業高等学校校長 中筋政人



紫雲会東京支部の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

私は、横山賢治校長先生の後任の中筋政人と申します。昭和51年商業科の卒業生です。どうぞよろしく願っています。

39年ぶりの母校は、「至誠・剛健・協同・勤労・敬愛」の校訓のもと文武両道を掲げ、勉学や部活動、学校行事にとても熱心に取り組むなど、活気に溢れる素晴らしい高校であり、とても誇らしく思っております。生徒数は全日制922名、定時制32名、合計954名と県内有数の大規模校です。進路においては、国公立大学や難関私立大学などへの進学実績があり、国や地域を支える企業にも多数就職できています。また、部活動

を賜り、誠にありがとうございます。現在、部活動や雨天時の体育の授業等でも有意義に使用させて戴いております。皆様のご支援に必ず応えるように頑張っていきたいと思っております。

さて4月7日に全日制315名、定時制9名の新生が入学してきました。中筋新校長先生の下で生徒たちは学習に部活動に検定取得に頑張ろうと、期待に胸を膨らませていることと思います。一日も早く高校生に慣れ、先輩たちと同様に自分の目標を見つけてその達成に全力投球して欲しいと思います。また、上級生たちは自分の目標に向かって自己研鑽に励みながら下級生の模範となるように期待しています。

今後紫雲会東京支部の一層のご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝並びに支部の益々のご発展を祈念し、私自身も後方から応援することをお約束し、お礼の言葉とさせていただきます。

では運動部・文化部ともに全国レベルの成績を収めています。

生徒には、本校の素晴らしい校訓を実践すること、前向きで建設的な考え方をすることを意識しながら「当たり前」のことに当たり前にすること、将来、社会の中で力強く、かつ柔軟に生き抜く力や、目標を実現する力、幸せになる力などを養うとともに、心豊かな人になって欲しいと願っています。

高商に設置されている商業科、情報数理科、英語実務科のそれぞれの特色を生かした取組を行い、部活動においてもさらに活躍できるよう、教職員が一丸となって教育活動に邁進するとともに、新しい伝統を築くべく日々精進して参りますので、どうぞよろしく願っています。

今後紫雲会東京支部の一層のご発展と会員の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、母校高商への益々のご支援をお願い申し上げます。

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



平成26年度表彰 吉田 勝昭 80周年記念総会実行委員長

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



平成26年度表彰 関 邦義 80周年記念総会動員部会長

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



平成26年度表彰 北條 勇 80周年記念総会会場部会長

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



紫雲会東京支部活動への協力に感謝状贈呈 サンミ高松代表取締役 溝渕 優氏

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



紫雲会東京支部活動への協力に感謝状贈呈 杉ノ内 義春氏

会東京支部 平成 26 年度 定期総会



閉会ご挨拶 櫻本 恵一 東京支部部長代行

新採から12年間の 教え子との絆

元教諭（体育） 松原真一



私が高松商業の生徒でした3年時は小林義明校長でした。昭和45年に新規採用で母校に帰ってきたときも小林義明校長です。校長先生から「松原君良く帰って来てくれたな」との言葉をかけて頂いた思い出が鮮明に残っています。当時はまだ機械警備はなく宿直をしていました。私の恩師、陸上部顧問と3年時担任の宿直も引き受けました。私が宿直時には高商会館の生徒達が遊びに来てくれ色々な話ができて生徒

の気持ちがよく理解でき深い絆ができました。

学校では最初は副担任、初めてのクラス経営は2年男子の就職クラスでした。生徒は遅刻が多く、私は運転免許と同様に200点を与え遅刻1番が1点、2番が2点減、1年間で無くなれば坊主との約束をしました。遅刻激減、しかし2人が坊主となりました。部活では駅伝の合宿を自宅でした思い出があります。その生徒達の学年とは毎年同窓会をしています。このように若いときの思い出が走馬灯のように思い出されます。

松原先生は今年の総会にご出席いただける予定です。久しぶりに先生とお話しできる機会です。ぜひご出席ください。

平成26年度 会費の納入者

事務局だより

物故者

昭和13年卒	井川 良雄
昭和13年卒	稲井 武
昭和17年卒	井本 桂一
昭和28年卒	谷本 武
昭和32年卒	長尾 勝
昭和33年卒	中條 忠義
昭和40年卒	木下 一昭
昭和44年卒	松井 忠文



水彩 片岡 英明氏 (S32年)



水彩 片岡 英明氏 (S32年)



油彩 長尾 利之氏 (S31年)

平成26年度 作品 展示会



写真 中西 勲氏 (S33年)



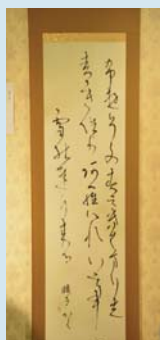
写真 関 邦義氏 (S33年)



写真 谷本 清彦氏 (S32年)



日本画 小原 清氏 (S33年)

築地 佐和子氏
(S56年)榎本 睦子氏
(S32年)岩崎 智雄氏
(S32年)写真
太田 郁治郎氏 (S56年)写真
安西 公夫氏 (S33年)写真
松原 輝男氏 (S32年)

平成26年度 東京香川県人会総会風景

平成27年度
会報賛助金提供者

学校だより

香川県立高松商業高校教諭
S 63 年 卒 小西裕樹



東京支部の皆さん、春高バレー・柔道の全国選抜大会でのご声援ありがとうございました。

がとうございました。皆さんの期待していた結果は残念なかつたかもしれませんが、温かい応援は選手に伝わっていると思います。今回も全国に出場した部活が多いため主な報告のみをさせていただきます。

夏の全国高校総体において、バドミントンの女子シングルスで十河菜由さんが5位入賞、弓道の男子個人で瀬戸杜大くんが3位の成績を残しました。ハンドボール部

女子は、史上2校目の3連覇とはなりませんでしたが、3位という素晴らしい結果を残しました。夏の全国選抜大会においても3位入賞を果たしました。田中監督の話では今年のチームは、まだまだ伸びしろがあるとのことですので、再び夏の全国制覇に期待したいと思います。

文化部では、珠算電卓部の落合亮太くんが第61回全国高校珠算・電卓競技大会において、電卓個人種目総合競技・応用計算競技の2部門で3位と素晴らしい成績を残してくれました。また、書道部(女子)が、第7回全国高等学校書道パフォーマンス甲子園で6位入賞しました。

長年、同窓会の皆さんに愛用されてきた高商会館(同窓会館：本校北西角の建物)ですが、香川県の耐震診断を受けた際に、危険建物に認定され平成25年4月から立入禁止になっていました。耐震の補強工事認められず、昨年末から解体工事に入り現在は更地になっています。この建物には、同窓会や甲子園関係の資料室・和室・食堂などがあり、部活動の長期合宿にも利用されるなど学校としても重宝していた建物でした。そこで、同窓会・甲子園関係の資料が閲覧できる部屋と和室は西館4階に、食堂は西館の1階に移転することになりました。4月からリニューアルされた食堂は、メニューも増え毎日大勢の生徒・教員で賑わっています。卒業生の中には、学校を懐かしみわざわざ学校の食堂を利用しに来る方もいます。皆さんも香川に帰郷の際には、新しい食堂や同窓会の資料室に立ち寄り学生時代を思い出してみてもいいのではないでしょうか。

ふるさと「香川県」情報

香川県東京事務所長 高木康博



香川県をうどん県に改名するという「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトも5年目を迎え、知名度も向上してきましたが、アトや骨付鳥などうどん以外の香川の魅力を引き続き情報発信していきます。7月下旬から8月上旬にサンポート高松で、全国的にも珍しいインパクトのあるイベント「香川ウオーターフロントフェスティバル」を開催します。

昨年の12月に25周年を迎えた高松空港は、航空路線の充実に取り組んだ結果、国内線の高松・羽田線ではJALとANAで一日13往復、高松・成田線ではLCCのジェットスター・ジャパンと春秋航空日本の2社で一日3往復しています。国際線では、チャイナ・エアラインの高松・台北線と春秋航空の高松・上海線が週4往復しています。

食の分野では、香川県が開発したオリジナルのお米「おいでまい」が、2014年産米の食味ランキングで、2年連続で最高評価の特Aに認定されました。2年連続の特A評価は四国初です。このほか、首都圏でも定着しつつあるオリブ・ハマチ・鯛やオリブ牛、ブロッコリー、キウイ、イチゴ等の販路拡大に取り組んでいます。昨年、農林水産省主催の「一地域も国民大賞」で「オリブ牛肉うどん」が銀賞に選ばれ、今年の5月に開催されるミラノ万博で紹介されます。また、注目を集めている希少糖の支援も行っています。希少糖には内臓脂肪の蓄積を抑え、食後の血糖上昇を緩やかにする作用があると言われています。せとうち旬彩館で希少糖関連商品を販売していますので、一度ご賞味ください。

地元プロサッカークラブ「カマタマーレ讃岐」は昨年からJ2リーグに参加しています。昨年は下位に低迷しましたが、戦力もアップした今年は期待できます。首都圏でもJ1経験チームとの試合が行

われものです。皆様方の熱い応援をお願いいたします。さて、来年3月には瀬戸内海の12の島々などを舞台に、第3回目の瀬戸内国際芸術祭が春夏秋冬の3会期で開催されます。食文化の発信や国際化の促進など、魅力的な芸術祭にしていきたいです。皆様方には、ふるさとに足をお運びいただき、恵まれた自然、美味しい食、豊かな文化を満喫していただければ幸いです。

東京香川県人会だより

東京香川県人会理事 S39年卒

平成26年11月4日(火)東京會館で「東京香川県人会総会」が開催された。今回も紫雲会東京支部から多数の受付の応援があり、混乱も無く開会されました。18時から、世界的なブリマドンナ「林康子」のコンサートで総会がスタートしましたが、「蝶々夫人」など30分の予定が1時間近くになる歌声に会場は一気に盛り上がりました。同窓会別出席者数は高松商業24名で、残念ながら丸亀高校(37名)、高松高校(27名)に次ぐ3位でした。今年は是非、一昨年以来的のトップに返り咲きましよう、多くの出席をお願いいたします。

東京香川県人会第97回定期総会のご案内

今年も「東京香川県人会総会」を盛大に開催いたします。香川県産食材(オリブ牛、オリブはまち等)を使った美味しい料理や香川県産のお酒をご賞味いただけます。多くの高松商業高校のOB・OGの方々に参加いただけることを願い、心よりお待ちしております。

開催日時 平成27年11月4日(水) 18時
会場 東京プリンスホテル 2階「鳳凰の間」
(港区芝公園3-3-1)

次 第 総会、懇親会、アトラクション、お楽しみ抽選会、さぬきうどんコーナーなどお楽しみ企画が盛りだくさんです。

参加費 7,000円(学生3,000円)
*全員に香川県産のお土産を用意しております。

開催案内は9月中旬に送付する予定です。ホームページにも掲載します。
<http://www.pref.kagawa.jp/tokyo/index.htm>

ご案内を希望される方は、東京香川県人会事務局へご連絡ください。東京香川県人会に加入したくと、毎年ご案内を差し上げます。

【お問い合わせ先】東京香川県人会事務局
電話 03・5212・9100

また、ふるさとを離れてくらす人たちの想いを税制面で支援する「ふるさと納税制度」について、返礼品の内容を寄附額に応じて選んでいただけるよう拡充しました。昨年度好評であった讃岐うどんはもとより、オリブ牛、香川県産オリブオイル、季節の果物、香川漆器などを取り揃えました。今後とも、ふるさと香川を元気にする取組みにご支援、ご協力をお願いいたします。

北條 勇

悲観会は、さぬきの特産品「オリブ牛」、「オリブはまち」を始め、

美味しい料理とさぬき弁で盛り上がりつつありましたし、やはり「さぬきうどん」の屋台は長蛇の列でしたが、閉会時間があったという間に来て仕舞いました。今年は11月4日(水) 18時より東京プリンスホテルに会場を移して開催します。また、東京香川県人会では、香川県出身の若手音楽家を育てる会「麻布十番さぬきふれあいコンサート」を開催しています。ご支援いただける方にお願いしています。多くの皆様に「さぬきの音楽家を育てる会」の会員になっていただき温かいご支援をお願いしています。(7面に写真掲載)

足どり④ 完結編 人材でなく人財へ

前支部長代行 S32年卒 榎本恵一



前回、リーダーシップはあっても次の約2000年前、後漢末の時代、碩学の四つことがあると言われた歴史的事実からみると、その通りになっている。第1偽(嘘、偽物)、第2利(私利私欲)、第3放(ルール・法律違反、第4奢(驕り、高ぶり)これら四つを根本から直さないと会社

が潰れるとも言えます。大阪・マイカル(店名サティ、ビブレ)140店舗余、年商9,000億円余、従業員約3万名)が、会社の役員会内紛の末、2001年9月民事再生法で再建を計ろうとしていたが、先行き見通しを立てられず、裁判所管轄で行う会社更生法の再建を計ろうとしていたイオン(株)が再建することになり、営業担当・新業態担当専務から監査役に退いていた私に事業管財人(イオン社長に変わり大阪に常駐して、事業管財人代理の代表として再建するよう要請された。私も63歳となり、高松商業を卒業し、船場の丁稚奉公シロ、1969年(S44)に合併しジャスコとなり、社名変更でイオンとなつてから44年間会社勤めをしたノウハウを集大成し、マイカルを早く会社更生法を終結し、普通の会社となるようあらん限りの能力と執着心を持って対処しようとした。社内大学、社内大学院、社内外各種セミナー、短期ビジネススクールや海外クリニックス数多く参加し勉強・学習を体験・経験することが出来たのは自己啓蒙と共に、当時の経営者のお蔭ですが、思えば「この本を読め(近代経営学入門)」と言われた高松商業の同期でH26年7月に亡くなった長尾さんが、最初に勉強の大切さと、そのキッカケを作ってくれた。感謝するものの寂しさと無念の思いは増幅する。

イオンの岡田社長より託された合同朝礼のコメントの中に、マイカル創業者の

「誓いの詞」があり、お客さまを大切にすること、先ほどの国を亡ぼす4つの言葉が、倫理観も失い、そのまま会社を潰す言葉に変わってくる。企業存続30年説も内面的には成長戦略と倫理観を失うことから衰退の経過を迎えるのだらう。イオンから当初14名の出向人員でスタートし、最大でも20名までとした。その理由は、会社を再建する原動力はマイカルの人達が自律的精神で考え行動するようになければ大きな成果は得られないことを、過去何度も経験しているの、マイカル幹部約50名と個別面談し、キラリと光るKさんや営業の頂点、専務に登用し腕をふるって頂き、面談した他の有能な方々も新組織の重要な役職について頂きました。

一方、トップの方針でチェインストアー理論を学習してなかったマイカルの幹部、店長、商品部員は、日本リテイリングセンターの渥美俊一先生にマネジメント理論、マーケティング理論等を1年間かけて延べ1845名猛勉強し自信をもつて業務に当たれるようになりまし。共通の言葉と考え方が出来、コミュニケーションに大変役立ちました。病上りの渥美先生が精力的に「指導頂く事が出来ましたが、残念ながら2010年に逝去されました。感謝申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。やはり基礎は人間であり、人財をどのように創り出していくのかは、企業の浮沈にかかわってきます。「組織の目的と、そこに働く人々が自律的意識を持ち、どのようにやる気を持って行動するかの環境づくり、企業風土づくりが、組織の頂点に立つ者の役割だと思います。」1987年米国経済のバブルが弾けたときのように流通業は対処したのか、1991年・1992年の両年クリニックスのとき生き残った企業がどのような戦略で対処したのか、淘汰された企業はどうであったのか、よく理解できた。生き残った企業の戦略は、「コア事業に集中する(多角化事業の整理B/Sに影響さず)」「スピードある意思決定」「思い切ったコストダウン(但し、競争力

影響は避ける)」「④鍵となるビジネスプロセスの改革①サプライチェーンマネジメントの改革②管理部門の改革③顧客管理の改革、生き残りをかけて根本対処をしなかった企業は淘汰されている現実を米国視察で体感することが出来ました。イオンの商品でサプライチェーンマネジメントに手が付いたのは1995年からです。マイカル再建でのノウハウも米国視察の経験を活かすことが出来ました。コア事業に集中するといった中で「しない」選択もある。ハーバード大学のマイケル・ポーター教授が書いた「競争戦略Ⅰ、Ⅱ」の中で、「しない」ことは戦略であると言われている。マイカル再建の時、中核事業のサティ、ビブレはするが、海外事業を含め、他は「しない」という意思決定は米国の歴史的事実から学んだ。2005年に会社更生法を終結し、普通の会社となりました。債権者・お取引先には多大な経済的な負担とご迷惑とかけました。従業員にも、給与の切り下げ、ローンも銀行では組まず私生活では大変迷惑をかけておりました。実質4年間で再建することが出来たのは、マイカル全従業員の出来たような努力の賜だと思います。私も社長、取締役相談役から気持ちよく退職できました。数年後、マイカルはイオンと合併し、名実ともに一つの会社となり従業員の生活も安定するようになりました。

逐一細かいことを書き出しますと、更に紙頁が必要となりますので、ここらへんで終わりたいと思います。現在、東京電力は原発問題から社会からの批判にさらされていますが、1981年頃すでにトップを退かれていた平岩外四さんが、対談されているものがあり、その中で私なりに、そのエキスをとり、座右の銘としたものがあります。「歴史観、世界観、倫理観」であり、以降、イオン在任中、心にしっかりと刻み込みました。連載②で判断するときの安岡正篤さんの言葉を紹介しましたが、同様に大切に扱い、困難な時の判断に適切な考えを提供してくれました。大いに役立ちました。一つの考え方と、行動としての実例として参考にして戴けるなれば望外の喜びです。

東京支部 俳壇・歌壇

現代川柳

S 32年卒 安西 愈様

・老いてなお知覧の桜胸深く
・幻の炎を秘めて冬の橋
・のど飴がひよいと逃げていく師走
・関東の空の広さに五十年

・悲しみを鬼に食べさせ生きのびる
・ふるさとを握りしめては叱られる
・山の彼方を信じつづけて今生きる
・コーヒーを飲み過ぎている春の午後

川柳 俳句 短歌

S 33年卒 吉川俊夫様

・花と月皆既月食夢のせて
・散りしける椿の落花ふむまじく
・水茄子が出てこそ夏と思いきり
・愚かさを忘れかけた終戦忌
・虎刈りの昔はありき入学児
・晩節の時恨めしとや花の冷
・藤棚の見事一樹知ればなほ

S 36年卒 吉田勝昭様

・昨日より若いといわれ
好きになる
・気合い入れ鏡を覗むアイライン
・呑んべえは匂いをかきわけ
かけつける

S 37年卒 若宮利夫様

・男木島の減摩されたる石畳
磨る足減りてなおも悲しや
・金毘羅の石段榮やす余花のした
緋布団のうえ軀のゆれる

S 39年卒 鈴木 康様

・散り時を心得し今花吹雪
・風光り客船大きく旋回す
・春光のまばゆさにあり赤子の目

五行歌

S 35年卒 福家貴美様

・竹箒のひびき
・早朝の清しき
・懐古園を守る人の
凛とした所作

・キラキラ星の
お遊戯忘れて
・シュワーツ
・ウルトラマンのポーズ
ひとりで決める四才児

会員作品展 作品募集

○絵画・版画 出品点数 3点以内
大きさ 30号まで

(申込先) 片岡 090・7282・0325

○写真 出品点数 3点以内
大きさ 全倍まで

(申込先) 中西 042・592・7407

TEL&FAX 042・592・7407

○書道・工芸 等 出品点数・大きさ 相談

(申込先) サンミ高松内 東京支部 漆原

TEL 090・7282・0325

申込期限 6月25日(木)

(注) ①郵装・パネル等のサイズ通知のこと
②多数応募の場合、展示数調整もあり
ます

搬入 7月4日(土)
総会会場午前9時

東京都中央区銀座7-13-20
サンミ高松7丁目店

TEL 03(568)3320

(注) ①宅配便利用の場合、右記へ
7月3日(金)12時配達指定

②吊下げ用ヒモ事前に取り付けのこと

撤去 搬入後出品者全員で実施
総会終了20分後各自実施
担当 谷本清彦

同期会のすすめ

S 28年卒 杉ノ内義春



さぬきうどの
故郷・高松をあと
にして私は昭和44
年4月1日に入社
以来初めての転勤
族とともに上京しました。
関東は日本一生存競争が激しく約

昭和46年卒 還暦同窓会その後

S 46年卒 岡本えり子

私達は2年前の還暦の年、紫雲会
東京支部の協賛と銀座のレストラン
「サンミ高松本店」のご協力を頂き
昭和46年卒の同期会を開催致しま
した。
きっかけは、高校時代バレー部に
所属しておりました私は、先輩から
ご連絡いただき全国大会春高バレー
出場後輩の応援に参加しました。帰
りのお茶の席で先輩の方々から「東
京支部は同期会の応援賛助金して



S46年卒 同期会

3か月ぐらいいは仕事より生活環境の
疲れを感じました。幸いにも同期生
で現在紫雲会東京支部最高顧問の溝
渕利幸氏に東京の事情について親切
なアドバイスを頂き関東での生き方
の第一歩を体験することができ、自
信が持てました。
続いて同期会結成の準備のため、
在京者に文書で呼びかけ、昭和44年
4月中旬頃に溝渕氏が勤務していた
銀座で有名なレストラン「三笑亭会館」
で昭和28年卒のメンバー18名が懐か
しく再会できました。久しぶりに母

いるからは是非、還暦のタイミングで
計画してみて下さい」の一言でした。
すぐに名簿を送付頂き、既に年次
幹事としてお世話になっておりまし
た串田裕司さんと協力して1か月後
に開催することができました。首都
圏在住の同期の方がこんなに居るこ
とも初めて知り、その約半数の13名
(女性5名・男性8名)が集まりました。
学生時代には言葉も交わしたこ
ともない人が殆ど、同じ学び舎で、
同じ時期を過ごしたということで、
銀座に居ながらにして一瞬に故郷の
高校時代にタイムスリップし、懐か
しい昔話に花が咲きました。

当日はこれで終わらず、全員で二
次会。いつしか皆が旧知の仲に、あ
つと言ふ間の楽しい時間でした。そ
れからと言ふもののこの出会いから毎
年少しずつ輪が広がり、高松の疎遠
だった友達とも年に一度は会い、こ
れまでにはない私のリフレッシュと
なっております。高松でも小さいグ
ループの集まりはあったようですが、
今年3月には卒業して初めて男女合
同の「46年卒同期会」をすることに
なり学友86名が出席しました。東京
支部からのメンバーも7名参加しま
した。本当に楽しい一時が過ぎまし
た。この始まりも紫雲会東京支部
にあったのではないかと思います。
先輩の方々が築いて頂きました紫
雲会東京支部に心より感謝しており
ます。

校在学中の話等で会話が盛り上がり
お互い感激しました。この席で今
後28会の結束と発展を目的に永久幹
事を杉ノ内、上田の2名が引き受け
その後40年以上にわたり親睦を深め
ております。今後も母校と紫雲会東
京支部の発展に全力で応援致します。
28会の合言葉「健康で長寿 目指
せ120才」で頑張っています。
後輩の方に一言。卒業年次で同期
会未結成のクラスは少人数でもいい
から同期の方に呼びかけ一日も早く
実現されることを切望いたします。

平成26年度 定期総会



ビンゴ 司会：池田さん 抽選者：築地佐和子さん



乾杯！ 豊嶋 利夫氏 (S21年卒)



今年も皆様から沢山の景品をご提供いただきました



会場は大盛り上がり！



万歳三唱 杉ノ内 義春氏



全国高校総体高松宮記念杯第65回ハンドボール選手権大会
於 川崎とどろきアリーナ

戦績は2回戦「浦和実業」、3回戦「大曲農業」、準々決勝は「四天王寺」の各校と対戦、高商はスピード感あふれる速攻で圧倒して、各試合をほぼ「ダブルスコア」で勝ち進み3連覇を目指し8月6日、準決勝戦で「佼成学園（東京）」と対戦し手に汗を握る接戦となったが、善戦及ばず18対23で惜敗！涙を吞み、3連覇は達成出来なかったが3位の好成績を収めた。

連日35度を超える猛暑の中、4日間て延べ50名の東京支部の皆さんが応援致しました。

1 全国高校総体 ハンドボール選手権大会 高商女子3位入賞！

全国高校総体高松宮記念杯第65回全日本高等学校ハンドボール選手権大会が、平成26年8月3日から8月7日まで「川崎とどろきアリーナ」に於いて開催され、3連覇を目指す母校の女子ハンドボール部が出場しました。

戦績は1回戦「国学院栃木」と対戦したが善戦及ばず、セットカウント0-2で涙を吞みました。

1、2年生主体のフレッシュなチームで、今後の活躍が期待されます。

トビックス スポーツ情報 総務委員 S33年卒 中西 勲

2 春の高校バレーに 高商女子出場



第67回全日本バレーボール大会高等学校選手権大会
於 宿舎にて

3 全国高等学校 柔道選手権大会に 高商柔道部 男女個人戦・ 女子団体戦に出場

第37回全国高等学校柔道選手権大会が、平成27年3月20日から「日本武道館」に於いて開催され、母校の男・女柔道部が出場しました。

3月21日女子団体戦が行われ、初戦の2回戦で「平田高校（鳥根）」と対戦、手に汗を握る熱戦となったが善戦及ばず惜敗しました。



第37回全国高等学校柔道選手権大会
於 日本武道館



会場に駆け付けて熱烈な応援をくださった有志の方々
(全日本バレーボール大会高等学校選手権大会)

◎なお昨年と同様ハンドボール、バレーボール、柔道の各試合に「紫雲会東京支部有志」による応援団が結成され、杉ノ内氏（S28年卒）のリードで、多数の東京支部の皆さんが熱烈な応援をしました。

また各大会とも、試合前日には安西支部長、安西彰常任理事及び複数の常任理事が、選手宿舎を訪問し激励すると共に紫雲会東京支部と有志からの「御祝い金」を贈呈致しました。



第9回ゴルフ大会 参加者一同



富士山周辺バスツアー 参加者記念写真



平成26年度 役員会一同



平成26年度 年次幹事会
(支部長と初就任メンバーによる記念撮影)

平成26年度 定期総会 歓談風景



**日産の80年は、
ワクワクする技術の歴史です。**



FUGA HYBRID(フーガ ハイブリッド) 日産リーフ

代表取締役会長 真鍋 健彦 (昭和38年卒)

香川日産自動車株式会社

〒760-0072 香川県高松市花園町1丁目1番8号 ☎0120-230057
http://www.kegawa-nissan.co.jp/

安西法律事務所

弁護士 安西 愈

(昭和32年卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目4番地1号大倉別館3階
TEL 03-3563-3225~7
FAX 03-3561-2446

おかげさまで創業40周年。

日本料理・イタリア料理・フランス料理

厳選素材を活かした四季折々の料理、お人数様に合わせた洋風、和風の個室もご用意いたしております。



代表取締役会長 溝渕 利幸 (昭和28年卒)

銀座Sun-mi 本店 〒104-0061 東京都中央区銀座6-3-9
TEL. 03-5568-3300 (総合受付)

銀座 並木通り店・銀座 7丁目店・横浜 伊勢佐木町店